

令和7年度（2025年度）「ケアマネジャー調査」設問項目一覧

新規追加、変更など	調査項目	選択肢									
問1	あなたの所属する事業所の所在地は次のどれですか。	① 中野区	② 中野区以外								
問2	あなたの所属する事業所はどのような介護サービス等を行っていますか。	① 訪問介護	② 訪問入浴介護	③ 訪問看護	④ 訪問リハビリテーション	⑤ 居宅療養管理指導	⑥ 福祉用具（貸与）	⑦ 特定福祉用具（販売）	⑧ 住宅改修	⑨ 通所介護（小規模通所含む）	⑩ 通所リハビリテーション
		⑪ 短期入所生活介護	⑫ 短期入所療養介護	⑬ 特定施設入居者生活介護	⑭ 予防訪問サービス（旧予防訪問介護）	⑮ 予防訪問入浴介護	⑯ 予防訪問看護	⑰ 予防訪問リハビリテーション	⑱ 予防居宅療養管理指導	⑲ 予防福祉用具（貸与）	⑳ 予防特定福祉用具（販売）
		㉑ 予防通所サービス（旧予防通所介護）	㉒ 予防通所リハビリテーション	㉓ 予防短期入所生活介護	㉔ 予防短期入所療養介護	㉕ 予防特定施設入居者生活介護	㉖ 生活援助サービス（緩和基準訪問サービス）	㉗ 活動援助サービス（緩和基準通所サービス）	㉘ 介護老人福祉施設	㉙ 介護老人保健施設	㉚ 介護医療院（介護療養型医療施設）
		㉛ 夜間対応型訪問介護	㉜ 小規模多機能型居宅介護	㉝ 認知症対応型通所介護	㉞ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	㉟ 看護小規模多機能型居宅介護	㊱ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	㊲ 予防小規模多機能型居宅介護	㊳ 予防認知症対応型通所介護	㊴ 予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	㊵ 病院・診療所
		④ 薬局	④ 都市型軽費老人ホーム	④ ④ その他のサービス（ ）	④ 併設事業なし						
問3	あなたの年代を次の中から選んでください。	① 20歳未満	② 20歳～24歳	③ 25歳～29歳	④ 30歳～34歳	⑤ 35歳～39歳	⑥ 40歳～44歳	⑦ 45歳～49歳	⑧ 50歳～54歳	⑨ 55歳～59歳	⑩ 60歳～64歳
		⑪ 65歳～69歳	⑫ 70歳～74歳	⑬ 75歳以上							
問4	あなたの現在の勤務体系を次の中から選んでください。	① 常勤専従	② 常勤で兼務（兼務職内容： ）	③ 非常勤							
問5	あなたはケアマネジャーとして、何年間従事していますか。	① 1年未満	② 1年以上3年未満	③ 3年以上5年未満	④ 5年以上						
問6	あなたのケアマネジャー受験資格と当該職種の従事期間を教えてください。 (1) 受験資格	① 社会福祉士	② 薬剤師	③ 介護福祉士	④ 理学療法士・作業療法士	⑤ 看護師・保健師	⑥ ホームヘルパー	⑦ 医師・歯科医師	⑧ その他（ ）		
		(2) 従事年数（ケアマネジャーになる前の従事年数で複数の受験資格を持つ場合は通算してください）	① 5年未満	② 5年以上10年未満	③ 10年以上15年未満	④ 15年以上20年未満	⑤ 20年以上				
問7	過去3年間で、所属事業所を変った回数は何回ですか。	① 0回	② 1回	③ 2回	④ 3回	⑤ 4回	⑥ 5回以上				
問8	あなたの給付管理件数は何件ですか。	① 10件以下	② 11件～20件	③ 21件～30件	④ 31件～40件	⑤ 41件～50件	⑥ 51件以上				
問9	作成する居宅サービス計画の件数について、次の中から選んでください。	① もっと増やしたい	② もっと減らしたい	③ 現在の件数で十分							
問10	あなたは現在、何件の介護予防サービス計画の受託または作成をしていますか。	① 0件	② 1件～8件	③ 9件以上							
問11	受託または作成する介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。	① もっと増やしたい	② もっと減らしたい	③ 現在の件数で十分							
問12	介護保険制度は要介護者等の自立支援を目的の一つとしていますが、現行の介護サービスはその役割を十分果たしていると思いませんか。	① 十分果たしている	② ある程度果たしている	③ 果たしているとは言いがたい（具体的に： ）	④ わからない	⑤ 1～4以外の意見（具体的に： ）					
問13	地域の自主グループをどのくらい知っていますか。	① 0	② 1～5	③ 6～10	④ 11以上						
問14	ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。	① はい	② いいえ								
問14A	(問14で「1」と回答した方に) 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源は何ですか。	① ほほえみサービス	② 地域福祉権利擁護事業	③ シルバー人材センターのサービス	④ 民間の配食サービス	⑤ 民間の家事援助サービス	⑥ 高齢者会館等の事業	⑦ まちなかサロン・その他通いの場	⑧ その他（ ）		
問15	ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思えますか。ご自由にお書きください。（記入式）	① (自由記述)									
問16	ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない（しにくい）サービスは何ですか。	① 訪問介護	② 訪問入浴介護	③ 訪問看護	④ 訪問リハビリテーション	⑤ 居宅療養管理指導	⑥ 福祉用具（貸与）	⑦ 特定福祉用具（販売）	⑧ 住宅改修	⑨ 通所介護（小規模通所含む）	⑩ 通所リハビリテーション
		⑪ 短期入所生活介護	⑫ 短期入所療養介護	⑬ 特定施設入居者生活介護	⑭ 予防訪問サービス（旧予防訪問介護）	⑮ 予防訪問入浴介護	⑯ 予防訪問看護	⑰ 予防訪問リハビリテーション	⑱ 予防居宅療養管理指導	⑲ 予防福祉用具（貸与）	⑳ 予防特定福祉用具（販売）
		㉑ 予防通所サービス（旧予防通所介護）	㉒ 予防通所リハビリテーション	㉓ 予防短期入所生活介護	㉔ 予防短期入所療養介護	㉕ 予防特定施設入居者生活介護	㉖ 生活援助サービス（緩和基準訪問サービス）	㉗ 活動援助サービス（緩和基準通所サービス）	㉘ 介護老人福祉施設	㉙ 介護老人保健施設	㉚ 介護医療院（介護療養型医療施設）
		㉛ 夜間対応型訪問介護	㉜ 小規模多機能型居宅介護	㉝ 認知症対応型通所介護	㉞ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	㉟ 看護小規模多機能型居宅介護	㊱ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	㊲ 予防小規模多機能型居宅介護	㊳ 予防認知症対応型通所介護	㊴ 予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	㊵ 病院・診療所
		④ 薬局	④ 都市型軽費老人ホーム	④ ④ その他のサービス（ ）							
問17	供給不足以外に必要なサービスが提供（調整）できないのはどのような場合ですか。	① 心身の状況	② 経済的事情により費用負担が困難	③ 支給限度額を超える	④ 介護保険制度の給付では対応できない	⑤ その他（具体的に： ）					

新規追加、変更など	調査項目	選択肢									
問18	介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。	① 十分につながっている	② ある程度つながっている	③ あまりつながっていない	④ 全くつながっていない	⑤ わからない					
問19	家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何ですか。	① 配食サービス	② 買い物	③ 通院	④ 掃除	⑤ 洗濯	⑥ ゴミ出し	⑦ 安否確認	⑧ 入浴		
問20	生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。	① 町内会・自治会等の活動	② ボランティア活動	③ 運動スポーツ関係の活動	④ 趣味関係の活動	⑤ 家族や友人とのコミュニケーション	⑥ その他()				
問21	ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。(記入式)	① (自由記述)									
問22	要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。	① 話し相手	② 認知症高齢者の見守り	③ 散歩の付き添い	④ 電球の交換や家具等の簡単な修理	⑤ 日常生活以外の特別な買い物	⑥ 大掃除の手伝い	⑦ ペットの世話	⑧ 緊急時の連絡	⑨ 庭の手入れや趣味の手伝い	⑩ おかずの差し入れなど
		⑪ 配食サービス	⑫ その他()								
問23	地域包括支援センターとの連携は取れていますか。	① 十分連携が取れている	② ある程度連携が取れている	③ うまく連携が取れていない	④ どちらともいえない						
問24	信頼できる地域包括支援センターはありますか。	① ある	② ない	③ どちらともいえない	④ わからない						
問25	主治医(かかりつけ医)との連携は取れていますか。	① 十分連携が取れている	② 主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない	③ 複数の医療機関にかかっており、主治医を特定できない	④ 主治医といえるようなかかりつけの医師がいない	⑤ その他()					
問26	在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源は何ですか。	① 訪問診療する医師	② 訪問看護師	③ 訪問歯科診療	④ 訪問薬剤師	⑤ 訪問リハビリ	⑥ その他()				
問27	障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携は取れていますか。	① 連携が取れている	② ある程度連携が取れている	③ うまく連携が取れていない	④ どちらともいえない	⑤ 障害者施策を利用できる利用者はいない	⑥ その他()				
問28	サービス担当者会議を開催するうえでの課題は何ですか。	① 関係者が忙しくてなかなか時間がとれない	② 関係機関・主治医からの情報が得られない	③ 関係者に理解がなく、出席が得られない	④ 会議をどのように運営してよいかわからない	⑤ 適当な会場がない	⑥ その他()				
問29	ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。	① 身寄りがいない	② キーパーソンがいない	③ 家族が協力的でない	④ 認知症のため自分で判断できない	⑤ 要介護者と家族の考えが異なる	⑥ 要介護者や家族から提案したケアプランに同意が得られない	⑦ 費用負担の面で、適切なケアプランが作成できない	⑧ 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	⑨ その他()	
問30	あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。	① 十分対応できている	② ある程度対応できている	③ 十分対応できないこともある	④ その他()						
	(問30で「3」と回答した方に)対応できない具体的な内容をあげてください。	① (自由記述)									
問31	要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。	① 同僚や上司	② 主任ケアマネジャー	③ 地域包括支援センター	④ すこやか福祉センター(保健師)	⑤ 主治医	⑥ 東京都のケアマネジャー相談窓口	⑦ 区役所(すこやか福祉センターを除く)の担当窓口	⑧ その他()	⑨ 相談するところがない	
問32	ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。	① 0件	② 1件~9件	③ 10件~19件	④ 20件以上						
問33	高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。	① 地域包括支援センターとの連携	② すこやか福祉センター(保健師)との連携	③ 緊急一時保護の充実	④ 虐待防止ネットワークの充実	⑤ 虐待対応マニュアルの周知	⑥ 具体的な対応や支援の方法等の研修	⑦ 区民・関係機関・団体等への周知・啓発	⑧ その他()		
問34	区が介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。	① 転倒予防教室	② 口腔ケア教室	③ 腰痛・膝痛予防体操教室	④ 骨盤底筋力向上教室	⑤ 栄養改善教室	⑥ 高齢者会館での健康づくり・生きがいづくり事業	⑦ 介護予防講演会(テーマ:)	⑧ 認知症予防教室	⑨ その他()	
問35	あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。	① 0名	② 1名	③ 2名	④ 3名	⑤ 4名	⑥ 5名以上				
問36	成年後見制度を活用するうえでの課題は何だと思いますか。	① 課題はない	② 制度がわかりにくい	③ 制度が使いにくい	④ その他()						
問37	区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。	① すすめたことがある	② すすめたことはないが、開催していることは知っている	③ 開催していることを知らなかった							
	(問37で「3」と回答した方に)広く周知されるには、どのような方法が必要だと思いますか。	① (自由記述)									
問38	認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。	① 地域における認知症に関する理解の促進	② 地域での見守りネットワークの整備	③ 家族への悩みの相談等の支援	④ 家族会開催への支援	⑤ 認知症ケアに関する介護スタッフの研修の充実	⑥ 認知症の早期発見・診断のための相談の場の充実	⑦ 認知症に関する専門医や専門家の支援・養成	⑧ 成年後見など権利擁護事業の充実	⑨ 認知症対応型通所介護(介護予防含む)や認知症対応型共同生活介護(グループホーム)等サービス基盤の充実	⑩ その他()
問39	あなたはこれまでに見たり聞いたりして、「人生会議(ACP)」という言葉や意味を知っていましたか。	① 人生会議(ACP)の意味も含めて知っていた	② 人生会議(ACP)があることは知っていたが、意味は知らなかった	③ 知らなかった							
問40	(問39で「1」「2」と回答した方に)人生会議(ACP)を活用した支援を行った経験がありますか。	① 支援したことがある	② 必要なケースがいたが、支援していない	③ 必要なケースがならず、支援していない	④ 人生会議(ACP)について知識がなく、支援していない						
問41	(問39で「1」「2」と回答した方に)人生会議(ACP)を実践するうえで難しいと思う点は何ですか。	① 本人や家族の人生会議(ACP)についての理解が不足している	② 支援者の人生会議(ACP)についての理解が不足している	③ 主治医の人生会議(ACP)についての理解が不足している	④ 支援経過の中で人生会議(ACP)を行うタイミングをつかめない	⑤ 人生会議(ACP)を行うための本人や家族との信頼関係を作れない	⑥ 業務が多忙なため人生会議(ACP)の開催に注力できない	⑦ 人生会議(ACP)を行うための出席者(本人、家族、支援者)の調整が煩雑である	⑧ 特になし	⑨ その他()	
問42	要介護者等について、どのような点が充実すれば自宅や地域での生活を続けることができると思いますか。	① 訪問介護等介護サービスの充実	② 24時間の緊急時に即応できる体制の整備	③ 区内での短期入所生活介護施設の充実	④ 高齢者見守りネットワークの整備	⑤ 住宅改修の対象拡大	⑥ 高齢者用住宅の増加	⑦ 在宅医療(往診体制)の充実	⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実	⑨ 小規模多機能型居宅介護等の充実	⑩ その他()

新規追加、 変更など	調査項目	選択肢									
		① 担当件数が多い	② 担当する利用者の地域範囲が広い	③ 困難なケースへの対応	④ 苦情への対応	⑤ 相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない	⑥ 事業所内のミーティングの時間がとりにくい	⑦ サービス担当者会議がなかなか開けない	⑧ 制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる	⑨ 地域の医療や介護サービスについての情報が得られない	⑩ ケアマネジャー業務の範囲が明確でない
問43	業務遂行上、困っていることはどのようなことですか。	① 文書の作成等事務処理に追われる	② 規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない	③ 特に困っていることはない	④ その他()						
問44	小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。	① ケアマネジャーを切り替えなければならない	② サービスの知名度が低い	③ 利用できる施設が足りない	④ パッケージサービスとなるため利用に不安がある	⑤ 利用を希望する方が少ない	⑥ その他()				
問45	介護保険制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。(記入式)	(自由記述)									